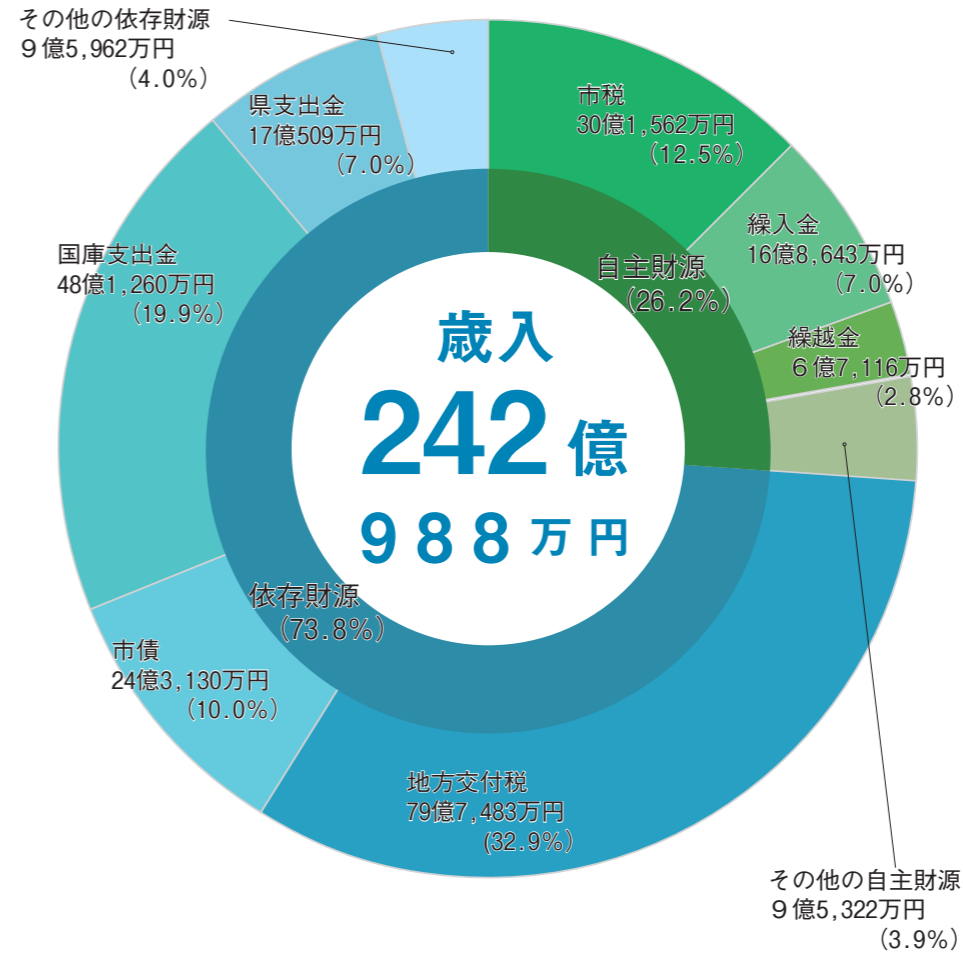


決算報告

8月23日から9月10日まで開かれた市議会第3回定例会で、令和2年度の一般会計など7会計の決算が認定されました。本号では決算の内容を財政の健全度を示す指標と併せて紹介します。詳しくは市ウェブサイトで公開していますのでそちらを確認してください。

■問い合わせ先 企画財政課財政係(☎内線1201)



歳入

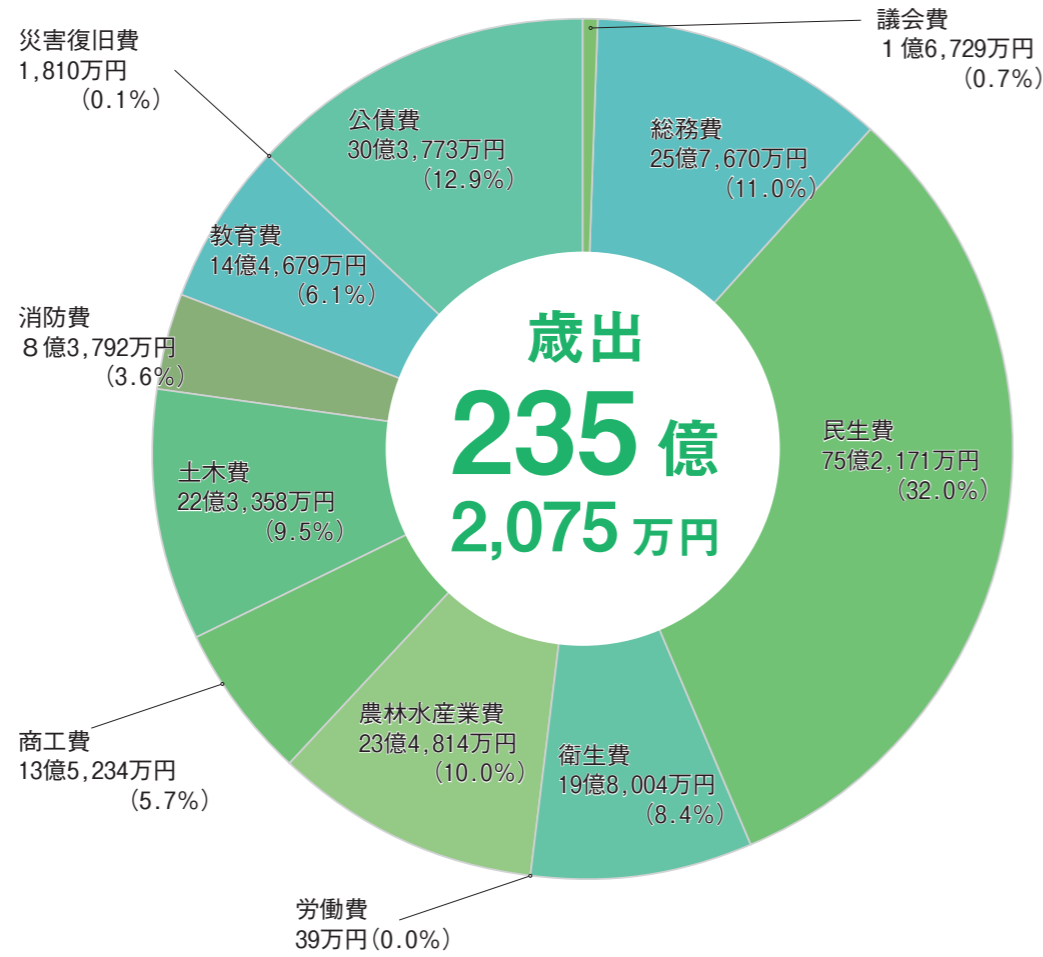
地方交付税は2・1%増
自主財源は4・8%増

2年度の一般会計の歳入(収入)は、242億988万円でした。一番多くの割合を占めたのは、地方交付税の79億7483万円、前年度より1億6092万円多くなっています。次に多いのが、国庫支出金の48億1260万円(前年度より30億4131万円の増)で、3番目が市税の30億1562万円(前年度より1億9463万円の減)となっています。

歳入のうち、市が自主的に徴収できる自主財源は63億2643万円、前年度より3億3969万円少なくなり、国や県などから交付される依存財源が178億8344万円、前年度より30億2836万円多くなっています。前年度に比べ自主財源比率が4・8%減少となりました。

特別会計・企業会計の決算状況

会計名	歳入決算額	歳出決算額
国民健康保険(事業勘定)	33億 202万円	31億9,989万円
国民健康保険(診療施設勘定)	8,201万円	6,216万円
後期高齢者医療	2億8,968万円	2億8,965万円
水道事業	収益的収支	4億9,570万円
	資本的収支	5億6,485万円
下水道事業	収益的収支	10億7,020万円
	資本的収支	2億2,735万円
病院事業	収益的収支	14億 763万円
	資本的収支	15億 339万円
	4億6,208万円	6億 152万円



歳出

コロナ対策事業の実施
民生費が59・4%増

一般会計の歳出(支出)は、235億2075万円でした。一番多くの割合を占めたのは、民生費の75億2171万円、子育て支援、障がい者や高齢者の福祉サービス、生活保護などに加え、新型コロナウイルス感染症緊急経済対策関連経費として、特別定額給付金やひとり親世帯への臨時特別給付金のために使われました。

また、松尾保育所整備事業を実施したことにより、前年度より28億431万円多くなっています。次に多いのが、公債費の30億3773万円(前年度より2473万円の増)で、地方債の償還に使われました。

財政の弾力性を示す経常収支比率は、前年度と同率の98・3%、財政力指数も前年度と同数の0・30でした。また、地方債残高は前年度より5億7078万円減少し、173億3047万円となり、基金残高は前年度より10億2152万円減少し、72億549万円となりました。

市は、今後も効率的な行財政運営を目指していきます。

◆ 財政の健全度を示す指標

- 1 経常収支比率** 人件費や扶助費、公債費の義務的経費などに充てた一般財源の額を一般財源の総額で割ったものです。数値が低いほど財政運営に弾力性があり、政策的に使えるお金が多くあることを示しています。
 - 2 財政力指数** 市税などの基準財政収入額を基準財政需要額で割って得た数値の過去3カ年の平均値です。数値が高いほど財源に余裕があることを示しています。
 - 3 実質公債費比率** 地方債の償還金などを標準財政規模で割って得た数値の過去3カ年の平均値です。本市は前年度より0・6%多い16・2%です。
 - 4 将来負担比率** 現在抱えている負債の大きさを標準財政規模で割ったものです。本市は前年度より4・0%少ない47・0%です。
 - 5 資金不足比率** 下水道など公営企業会計の資金不足を事業の規模と比較したものです。本市は資金不足の会計はありません。
- ※標準財政規模とは、市が標準的な状態で通常収入されると見込まれる経常的一般財源の規模を示すもので、標準税収入などに普通交付税を加算した額となります。財政の指標となる③から⑤までの比率を計算するための分母となる数字です。

※金額は1万円未満を、割合は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が合わない場合があります。